

“まごころ駐車”にご協力を ～身体障害者用駐車スペースを必要とされる方のために～

新しい病棟の建築工事に伴い、一部駐車場を閉鎖しており、ご迷惑をおかけしています。

正面玄関前に、身体障害者用駐車スペースがございます。車いすを使用する方や障害をお持ちの方は、車の乗り降りに広いスペースが必要です。身体障害者用駐車スペースは4台分のみですので、必要な方がいつでも利用できるよう、“まごころ駐車”を心がけましょう。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



身体障害者用駐車スペース

あなたの“声”を病院サービス向上に ～傘立てを新しくしました～



新しく設置した傘立て

この度、正面玄関前の傘立てを新しくし、3台設置しました。

以前のカギ付きの傘立て、暗証番号式の傘立てにつきましては、「使いづらい」「分かりづらい」との声をいただいていた。

検討の上、傘を1本1本収納できるタイプで出し入れがスムーズにでき、皆さまにとって使いやすいと思われる、雨の中でも明るく分かりやすい色の傘立てを選びました。

また、設置場所も変更し、正面玄関前が混みあわないうように幅広く設置することで、できる限り使いやすくしました。

傘立てをご利用の際、お帰りの際には、お忘れのないように、また、間違えてお持ち帰りにならないよう、ご注意ください。

今後も、ご意見・ご要望がございましたら、病院スタッフにお声かけいただくか、正面玄関・病棟に設置しています「ご意見箱」をご利用くださいますよう、お願いいたします。

病院スタッフも気づかないような貴重なご意見・ご指摘をいただくこともございます。



ご意見箱

皆さまの“声”が、病院サービスの向上につながります。今後とも、よろしくお願いいたします。

人間ドック・健康診断 丁寧でわかりやすい説明心がけて

～外来診療との連携強化めざす～



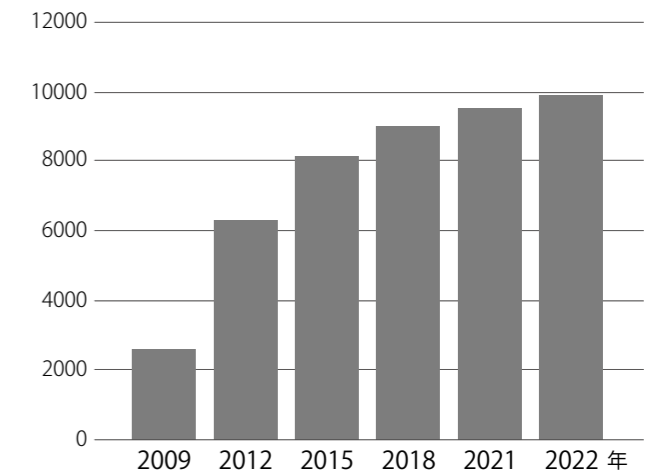
健康管理センター 郷司 克己

はじめまして。2023年8月に健康管理センターに着任しました郷司克己と申します。1978年に神戸大学を卒業し神戸大学小児科学教室に入局、主として代謝内分泌疾患を専門として診療に従事してまいりました。2019年に兵庫県立こども病院を定年退職し、以降、人間ドック、健診業務に従事させていただいております。このたびご縁があり大久保病院健康管理センターに入職させていただくことになりました。

各種健康診断や人間ドックを介して、受診者さまの健康増進を支援するとともに、疾病の早期発見、早期治療を目指して努力してまいります。受診者さまとのコミュニケーションを大切に、丁寧でわかりやすい説明を心がけています。微力ながら、少しでも受診者さまのお役に立てればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大久保病院は1981年4月より健康診断事業を実施しています。近隣企業、健康保険組合また近隣住民から年々増加する健康診断の需要に対応するため平成2009年11月より健康診断専用施設として健康管理センターを設立しました。当センターでは人間ドック・協会けんぽ生活習慣病予防健診・企業健診・明石市健診・特定健診など実施しており、オプション検査でも脳ドック・乳がん検診・子宮がん検診・CT検査など様々な検査を実施できる体制にあります。日本人間ドック学会のドック健診施設機能評価認定を受けており、昨年度3月に更新認定をしたところです。

健康診断受診者数推移



年々受診者数は右肩上がりに増加しております。グラフでも記載しておりますとおり健康管理センターを立ち上げた2009年度から比較すると前年の2022年度には約4倍の受診者数になっております。

今後の健康管理センターの展望としましては、受診者の方々からのニーズに対応できるよう新しいオプション検査の設定や、大久保病院外来との連携の強化を実施し、受診者の皆様に安心して健康診断を受診いただける施設として知識の習得と技術の向上、受診者サービスの向上に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

特定医療法人 誠仁会

大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1

tel. (078) 935-2563



財団法人
日本医療機能評価機構
認定書受領



当院専用
バス有り
詳細は当院
ホームページ

交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
 - ②のりば 19「山手台」行き
 - ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

大久保病院だよりは

ホームページでもご覧になれます

<http://www.seijinkai.or.jp/okubo/index.html>



地域医療に
想いをかけて



医療と安全を支える 縁の下の力持ち!



透析センターにおける臨床工学技士の役割

臨床工学技士とは、約35年前に出来た国家資格であり、医師の指示の下に生命維持管理装置の保守点検を行う医療機器の専門医療職種として誕生しました。現在、業務範囲は拡大し、血液浄化分野、医療機器管理、循環器カテ・ペースメーカー分野、手術室、内視鏡分野と多岐に渡っています。

当院では、透析センターと手術室の2部門で臨床工学技士が働いています。今回、透析センターでの臨床工学技士の役割、業務を紹介します。

現在、透析センターでは4名の臨床工学技士が働いています。私たちが、最も心がけていることは、透析治療が安全に行える環境を提供する事です。透析治療では、血液を体外に取り出し、再度体内に戻す体外循環を行います。人為的ミスによる事故もありますが、機器トラブルや透析用水や透析液の汚染などの管理不足による事故では、最悪の場合は命に関わる事があります。そのために、透析治療に使用する医療機器が正常に作動するようにメンテナンスの実施、最良の治療が行えるように、使用する水質の管理などの保守業務を行っています。

本当に地味ですが、凄く大事なことです。私たちは、医療は安全で当然と考えています。地味で目立つ事はないですが、手を抜く事はありません。

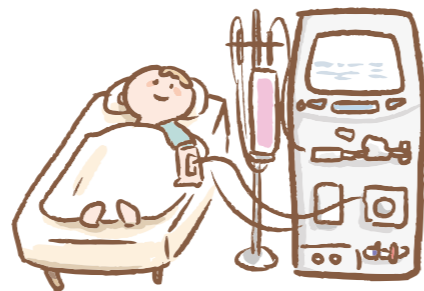


臨床工学技士

このような職種です。

臨床業務としては、医師、看護師と共に、治療開始時の穿刺業務から治療中の監視、トラブル対応、終了時の回収業務、バスキュラアクセスの管理、検査データ管理から医師へのフィードバック等を行っています。

また、最適な透析治療が行えるように学会認定の透析技術認定士を取得し専門的な治療に対応できるよう心がけています。



4年ぶりの開催! 緩和ケア病棟「夏まつり」!



新型コロナウイルスが流行り当期中止していました緩和病棟「夏まつり」ですが、4年ぶりの開催となりました。

制限した中での開催とはなりましたが、普段は部屋の中にいらっしゃる患者様がフロアに出てきて楽しそうに過ごされていました。

緩和ケア担当である山下医師のサックスの音色と樋富看護師のピアノの和音にうっとり癒され素敵な時間となりました。

栄養科からも手作りのベビーカステラを提供いただきおいしくいただきました。

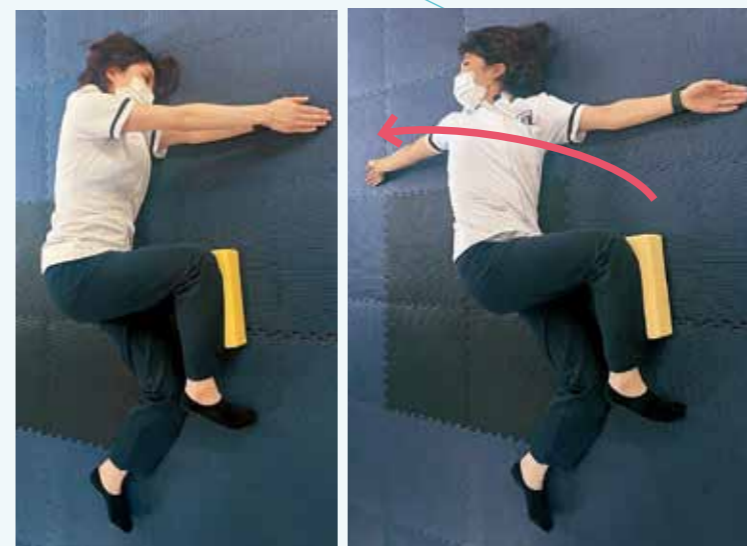
次はクリスマス会を予定しています。



リハビリ通信

リハビリテーション科

第3回 1歳でも若くみられる姿勢をつくろう!



座っている・立っている自分の姿勢に自信はありますか?

姿勢が崩れる原因として姿勢を維持する筋力が衰えることやデスクワーク・スマートフォンなどの生活動作、心因的要素が挙げられます。

姿勢が崩れると見た目が老けてみえるのはもちろん、酸素を十分に取り込めなくなり呼吸が浅くなることで疲れやすくなります。また、内臓が圧迫されることで消化不良になる、下腹が出てスタイルが悪くなる、そして慢性的な肩こりや腰痛、膝痛などにも繋がります。

24個ある背骨の中でも特に動いてほしい胸椎の柔軟性を上げて、姿勢改善に努めてみましょう。

- ①横向きに寝る
- ②上側の足をクッションなどに乗せる
(クッションから足は離れないように)
- ③息を吐いて上側の腕を反対側へ回す